

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

[1110]

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 青少年国際交流事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	05	青少年育成費	連絡先	0594-24-1247
	細目	003	青少年国際交流事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市内に住所を有し、助成金交付年度の4月1日現在において中学生から25歳までの者	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
海外留学によって出入国の日を含み、30日以上海外において国際交流を行った者に対して、その渡航及び滞在に係る経費の一部を助成する。 ・助成申請期間は、7月～9月で、広報、ホームページで周知を行う。 ・前年度の1月1日から助成金交付年度の12月31日までに国際交流を完了する者 ・年間5人までとし、各20万円の助成。(※自己負担額が40万円以上であること) ・助成決定にあたっては、教育委員会内に設置する選考委員会にて書類審査及び面接の上、	理解ある企業等の関与により可能性は広がると考える。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
桑名市の将来を担う青少年が、海外留学によって世界的な視野に立ち、ボランティア精神に富んだ、国際感覚豊かな成長を遂げ、それぞれの地域における中核的な存在として、桑名市のまちづくりに寄与することを期待するものである。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	在住青少年数	人	19,089	19,089	19,087	19,131	
活動指標	助成申請者数	人	7	6	6	5	
成果指標	助成件数	件	目標値 5	5	5	5	
			実績値 5	5	5	5	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計			1,000	1,000	1,000	1,000
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他		1,000	1,000	1,000	1,000
		一般財源				0	
		所要人員 (正職員)	人工	0.10	0.10	0.10	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.10		
	人件費合計	千円	697	708	1,024		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

事業周知の方法

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1121】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 青少年育成研修事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	05	青少年育成費	連絡先	0594-24-1247
	細目	001	青少年健全育成事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
市内幼稚園児、小中学校児童・生徒 小中学校区の青少年育成関係者、PTA、学校教育関係者	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
市内中学校区の青少年育成関係者、PTA、学校教育関係者等を対象に、青少年の健全育成のため、家庭・学校・地域が連携し、青少年のための好ましい環境の整備を推進すると共に、家庭や地域の教育力を高めることを目的とした研修などを実施。関係者の参加のもと、協力して地域懇談会や研修会の開催、中核的な指導者の育成および青少年健全育成のための協議・啓発活動等を行う。	民間関与というより、市が研修事業支援をすることによって成果を得ていくものだと考える。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
青少年の健全育成のため、実りのある研修会などを実施して、家庭、学校、地域が連携して育唱円の為の好ましい環境の整備を推進するとともに、家庭や地域の教育力を高める。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	実施学校区数	校	10	10	10	10	
活動指標	研修会開催回数	回	2	3	2	3	
成果指標	研修会参加者数	人	目標値 250	150	150	150	
			実績値 96	30	355		
投入コスト	事業費計		311	240	18	504	
	財源内訳	国支出金					0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		311	240	18	504
	所要人員 (正職員)	人工	0.10	0.15	0.15		
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	697	1,062	1,026		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方角性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

各地区での研修充実

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1045】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目07 青少年団体等補助事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	05	青少年育成費	連絡先	0594-24-1247
	細目	001	青少年健全育成事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
(公財) 日本ボーイスカウト三重連盟桑名第3団 (一社) ガールスカウト三重県連盟第9団 (一社) 桑名青年会議所 桑名市子ども会育成者連絡協議会	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
青少年健全育成に関わる諸団体の運営及び事業に対する補助を行う。 ・ボーイスカウト補助金 (21) ・ガールスカウト補助金 (21) ・青年の船参加者補助金 (48) ・桑名市子ども会育成者連絡協議会補助金 (1,635) ・桑名市青少年育成市民会議運営補助金 (3,678) ・和く輪くウィークエンド (1,292)	企業理解を得て各実施団体への支援が広がれば団体にとってよいこと。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
各団体実施の事業を通じ、青少年の自主性や協調性、社会性を育むことにより、心豊かな人間形成を成し遂げるよう支援する。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	補助対象団体数	団体	3	3	3	2	
活動指標	ボーイスカウト・ガールスカウト補助金額	千円	54	42	42	42	
	桑名青年会議所補助金額 (28年度から皆減)	千円	60	48	48	0	
成果指標	ボーイスカウト・ガールスカウトの登録者数	人	目標値 100 実績値 100	110 118	100 107	100	
	青年の船参加者数 (28年度から廃止)	人	目標値 10 実績値 10	10 11	10 4	0	
	事業費計			114	90	90	6,647
	投入コスト	財源内訳	国支出金				0
県支出金						0	
地方債						0	
その他						0	
一般財源				114	90	90	6,647
	所要人員 (正職員)	人工	0.10	0.10	0.66		
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	1.00		
	人件費合計	千円	697	708	7,911		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

団体の活動への支援

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2050】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 青少年補導関係事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	05	青少年育成費	連絡先	0594-24-1247
	細目	002	青少年補導関係事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
青少年 (18歳未満) ←平成27年3月27日改正 (改正までは、青少年 (6歳以上20歳未満))	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
青少年の非行防止・健全育成のため、関係者会議・街頭補導・青少年相談・環境浄化活動・青少年非行防止啓発活動等を実施する。 子どもの避難所「子どもSOS」の家の設置をすすめ、犯罪の防止を図る。	民の協力を得られれば、よりいい方向に向かうと考える。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
青少年の非行と不良化を未然に防止し、青少年の健全育成を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	青少年数 (18歳未満)	人	20,127	20,080	29,203	28,875
活動指標	街頭補導実施回数	回	369	534	579	580
	青少年相談実施回数	回	8	37	8	18
成果指標	年間延べ街頭補導人数	目標値	300	250	250	250
		実績値	250	217	143	
	年間延べ青少年相談件数	目標値	20	10	10	10
		実績値	8	37	8	
投入コスト	事業費計		2,716	3,250	2,829	1,857
	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債				0
		その他	7	185	122	0
		一般財源	2,709	3,065	2,707	1,857
		所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	1.12
		所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	2.10
		人件費合計	千円			14,795

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

効果としては、見えない部分が多いが、不可欠な事業として未然防止に努める。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1127】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 放課後子ども教室開設事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	05	青少年育成費	連絡先	0594-24-1247
	細目	004	放課後子ども総合プラン事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
放課後子ども教室実施校の児童、保護者、コーディネーター、学校関係者、地域住民など(教育活動推進員・教育活動サポーター)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
放課後運営プラン推進員と市民が参画する放課後子ども教室実行委員会によって、放課後子ども教室の運営について検討を行い、学校の余裕教室や校庭等の活用、地域の方々の協力などの、子ども達の安全で安心な活動拠点(居場所)の設置するため、現在市内8小学校で実施(藤が丘、星見ヶ丘、多度青葉、伊曾島、精義、大和、多度東、城南)で、放課後子ども教室を実施している。教室準備等を行うコーディネーターは、教育活動推進員、教育活動サポーターを活動内容、参加児童数に応じて設置し、週1~4日、概ね放課後から16~17時まで開催している。	スタッフの人数が少しずつ減少している現状を考えれば、民間関与することにより、スタッフ数の維持や運営方法、活動内容に様々な工夫が出せると考えられる。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
少子化による地域での教育力、コミュニケーションの低下など子どもを支える教育環境が問題視される中において、学校と家庭と地域が協力して取り組むことで、放課後における児童の安全で安心できる居場所をつくることによって、多くの児童が参加し、様々な学習や体験活動を通じて、自主性、積極性、協調性を身に	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	登録児童数(1校平均)	人	101	86	76	81
	延べ活動日数(1校平均)	日	71	68	64	62
活動指標	放課後子ども教室実施小学校数	校	7	7	8	9
	参加延べ児童数(1校平均)	人	目標値 2,300 実績値 2,422	2,300 2,486	2,200 2,207	2,200
成果指標	参加スタッフ数(1校平均)	人	目標値 470 実績値 531	470 472	480 448	448
	事業費計		9,896	9,720	10,566	10,936
投入コスト	財源内訳	国支出金				0
		県支出金	5,383	5,161	5,906	6,028
		地方債				0
		その他		6	6	6
		一般財源	4,513	4,553	4,654	4,902
	所要人員(正職員)	人工	0.30	0.30	0.30	
	所要人員(嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00	
	人件費合計	千円	2,092	2,124	2,051	

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

放課後子ども教室に参加されている児童、保護者の満足度は高い。参加希望児童が増えている教室については、スタッフ数が足りないところもあり、保護者の参加や協力してくれる地元住民を確保していくことが課題である。また、運営方法について、コーディネーター同士の意見交換や互いの活動内容を見学していけるよう促していく。